

### Ⅲ 風水害編

## 第1章 災害想定

### 1 水害

阿倍野区では、河川（外水）氾濫、内水氾濫の2種類の水害が発生する可能性があります。

#### ◆河川（外水）氾濫



降雨や融雪などにより河川の水位や流量が異常に増え、河川の水があふれたり、堤防を決壊してしまうこと。

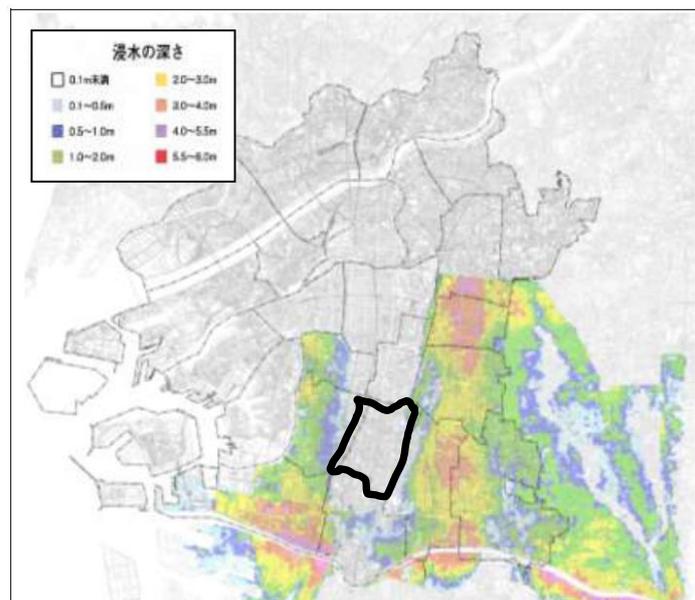
#### ◆内水氾濫



本来であれば河川に流れていく水が町中であふれてしまい、家屋などが水につかってしまうこと。

#### (1) 河川（外水）氾濫

河川水位が堤防より高くなったときや、堤防が壊れたときに河川の水が市街地に流れ込むことによって起こる氾濫です。阿倍野区では、大和川が氾濫した場合、東住吉区、生野区に隣接している区内北東部の一部の地域が浸水すると予想されています。

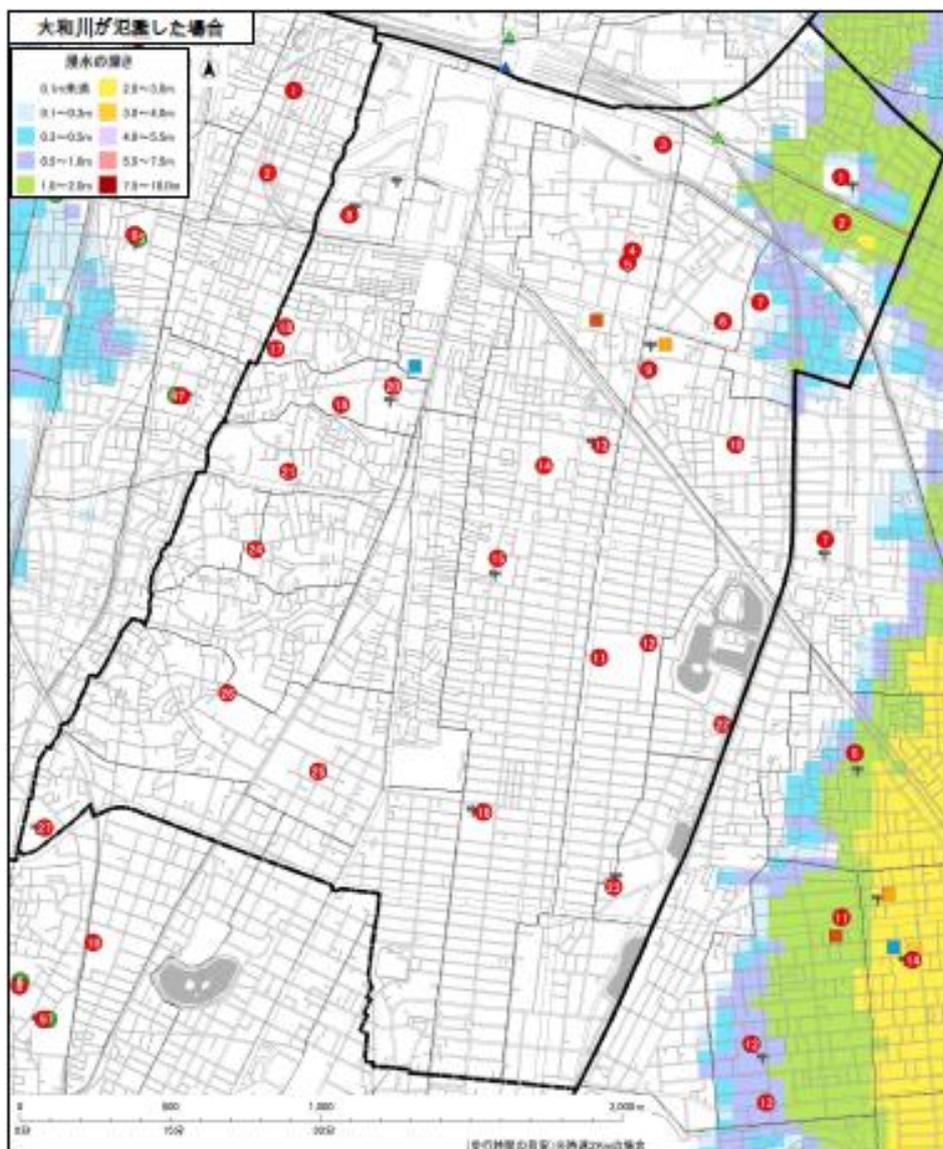


## 大和川が氾濫した場合避難勧告区域

### 【想定雨量】

総降雨量 280mm (柏原市・藤井寺市の石川合流点下流)

総降雨量 268mm (柏原市・藤井寺市の石川合流点上流)



※●の中の数字は災害時避難所を示しています。

## (2) 内水氾濫

内水氾濫とは、市街地に降った雨が側溝や下水道、排水路で流しきれなくなり、建物や土地・道路が雨水につかってしまうことです。阿倍野区では、地勢の形状から周囲より低くなっている地域が存在し、集中豪雨等により、雨水が周囲からまとまって流入することによる内水氾濫する地域があります。

### ■最近の阿倍野区内の内水氾濫被害

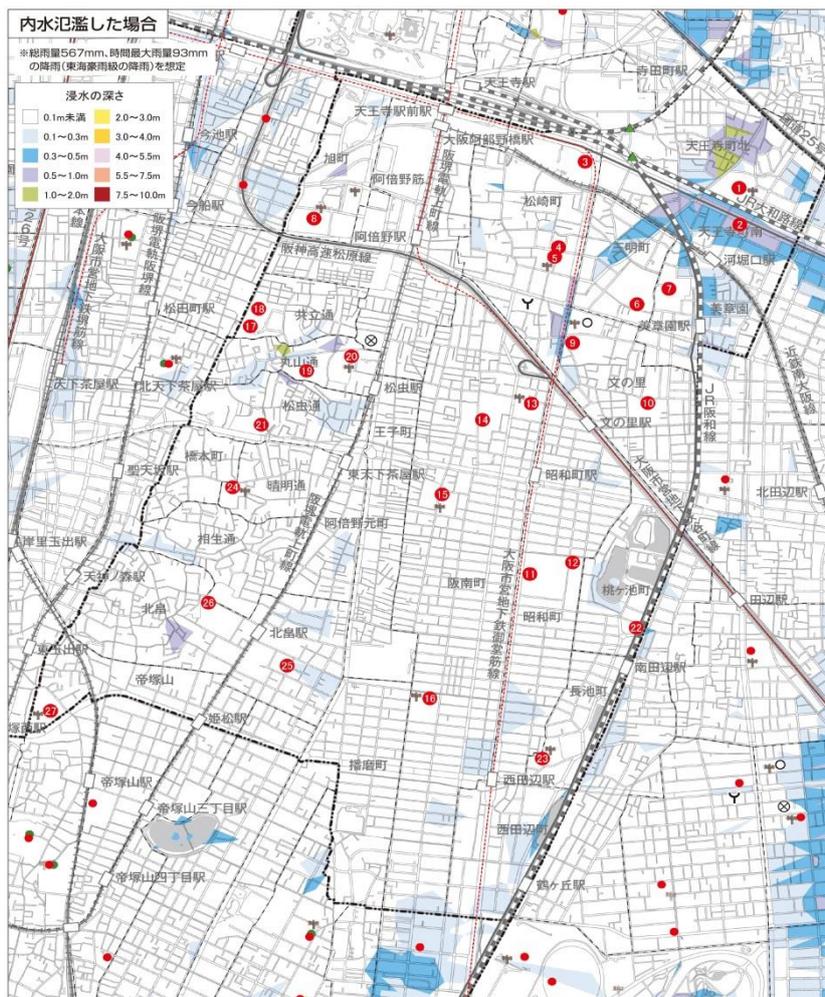
#### 浸水想定区域図

(想定雨量)

時間最大 93mm

総降雨量 567mm

内水氾濫発生日	床上浸水	床下浸水
平成 23 年 8 月 27 日	31 戸	99 戸
平成 24 年 8 月 18 日	0	137 戸
平成 24 年 8 月 24 日	0	13 戸

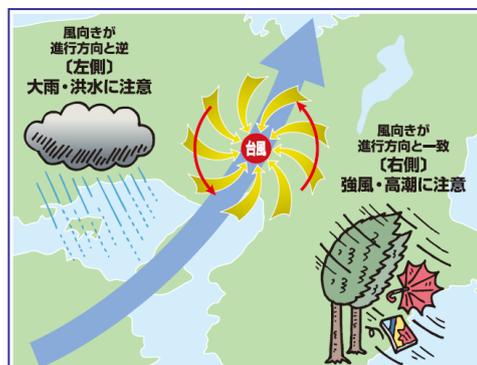


※●の中の数字は災害時避難所を示しています。

## 2 台風・局地的集中豪雨（いわゆるゲリラ豪雨）

熱帯や亜熱帯の海上で発生した低気圧（熱帯低気圧）のうち、中心付近の最大風速が 17.2m/s 以上になったものを台風と呼びます。台風は、日本付近に停滞する前線の活動を活性化させ大雨を降らせます。

また、近年、限られた地域で短時間に降る局地的豪雨のため浸水被害が多発しています。この集中豪雨がもたらす積乱雲（入道雲）は、短時間で急激に発達するため、台風などと異なり、予測が非常に困難です。



### 風と雨の強さ

風の強さと想定される被害

平均風速 (m/秒) 予報用語	想定される被害
10 以上～15 未満 やや強い風	傘がさせない
15 以上～20 未満 強い風	風に向かって歩くことができない
20 以上～25 未満 非常に強い風	車の運転を続けるのは危険な状態となる
25 以上～30 未満 非常に強い風	樹木が倒れ始める 瓦が飛び始める
30 以上～ 猛烈な風	屋根が飛ばされるなど、木造住宅が壊れ始める

雨の強さと想定される被害

1 時間雨量 (mm) 予報用語	想定される被害
10 以上～20 未満 やや強い雨	長く続くときは注意が必要
20 以上～30 未満 強い雨	側溝などから水があふれることがある
30 以上～50 未満 激しい雨	マンホールから水があふれることがある
50 以上～80 未満 非常に激しい雨	地下街に雨水が流れ込むことがある
80 以上～ 猛烈な雨	大規模な災害が発生するおそれ強い

### ■ 警報・注意報の発表

気象庁は、気象要素（雨量、土壌雨量指数、流域雨量指数、風速、波の高さ、潮位など）があらかじめ定めた基準に達すると予想した区域に、警報・注意報を発表します。この基準は、災害の発生と気象要素の関係を調査した上で、都道府県などの防災機関と調整して決めています。

警報・注意報の主な発表基準（平成 22 年 5 月 27 日現在 大阪管区気象台）

種別	警報	注意報
大雨洪水	1時間雨量40mm以上 または3時間雨量70mm以上	1時間雨量25mm以上 または3時間雨量40mm以上
雷		落雷等により被害が予想される場合
暴風警報 強風注意報	陸上 平均風速20m/秒 海上 平均風速25m/秒	陸上 平均風速12m/秒 海上 平均風速15m/秒
特別警報	気象条件等によって尋常でない災害が予想される場合	

## 都市型水害の特徴

大都市ではアスファルトで固められた部分が多く、大量の雨水が一気に下水道へ流れ込み、排水の処理能力を超えマンホールや側溝から地上にあふれ、地下街や地下室を襲う災害も起こっています。

地下にいるときは、安全と思い込まず、雨の降り方や降っている時間に気をつけ、外で何が起きているのかを把握するようにしましょう。

階段を流れ落ちる水の勢いは強く、地上への避難は困難になりますので、地下への浸水が予想されるときには早めに避難しましょう。



### ■風水害の情報を得るためのツール

#### ○大阪市降雨情報

大阪市建設局では、降雨観測用レーダー「オークレーダー」の観測結果と国土交通省近畿地方整備局が設置している「XバンドMPレーダー」の観測結果とをあわせて、大阪管区气象台が発表する大阪府の大雨警報、大雨注意報などの気象警報の一部を提供しています。

- ・大阪市建設局「大阪市降雨情報」ページのURL

…<http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/>

#### ○レーダー・ナウキャスト（降水情報）

気象庁のホームページで、気象レーダーによる5分ごとの降水強度分布観測と、降水ナウキャストによる5分ごとの60分先までの降水強度分布予測等を閲覧できます。

- ・レーダー・ナウキャスト（降雨情報）のURL

…<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc>